

カラオケは生涯学習

2000.10.1
VOLUME

3

カラオケ使用者連盟は、生涯学習の場としての
カラオケ施設利用の促進を行います。

我々カラオケ店は、日本が世界に誇る「カラオケ文化」発
信の担い手です。今直面している問題、解決すべき問題を
皆で団結して考えましょう。

発行/カラオケ使用者連盟
〒141-0021 東京都品川区上大崎2-24-11
目黒西口マンション2号館503
TEL 03-3495-5695 FAX 03-3495-5694

Karaoke User Association

【歌ってGET】が 11月1日スタート!

——カラオケ使用者連盟加盟店・再来店促進キャンペーン——

当連盟では平成12年度の通常総会及び各エリア総会の席上でも発表いたしましたように、
本年度の事業計画の一環として、会員加盟店の利益につながる事業を検討して参りました。

今回、カラオケ使用者連盟が主催するキャンペーンは、僅かながらでも会員店舗の売上拡大
あるいは顧客サービスの一助として、ご利用いただければとの思いで企画したものです。

キャンペーン参加のための費用は一切かかりません!

★ラสบエガス旅行が当たる★

＜キャンペーン内容＞

再来店を促すキャンペーンです。まずはポスターを掲載して下
さい。そして、ご来店なさるお客様に、来店ごとにシールを1
枚お配り下さい。シールは2種類ありますので、最初に1枚〔カ
ラオケは生涯学習シール〕、そして再来店時に1枚〔カラオケは
文化シール〕を配ります。お客様には2枚を1口として応募し
てもらって下さい。応募は、官製ハガキに2種類のシールを添
付した後、必要事項（来店店舗名とお客様のお名前・郵便番号・
住所・電話番号・年齢・職業）をご記入の上、カラオケ使用者
連盟・本部事務所までご郵送いただきます。

※キャンペーンの詳しい内容については、「ポスター」 「歌って
GET」カラオケ使用者連盟加盟店・再来店促進キャンペーン
のお知らせ」をご覧ください。

主催/カラオケ使用者連盟

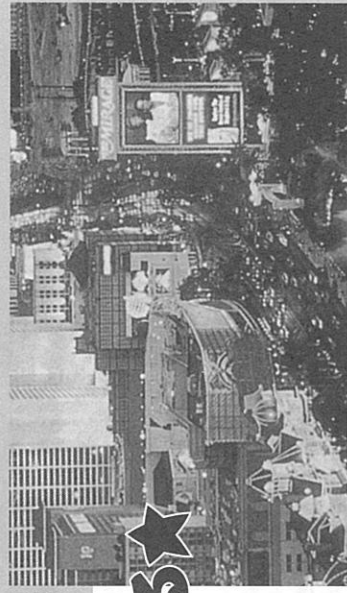
実施店舗/カラオケ使用者連盟加盟店

応募資格/加盟店にご来店のお客様

商品/ラสบエガス旅行（ペアで3組）

- 期 間/平成12年11月1日(水)～12月31日(日)
- 応募締切/平成12年12月31日(日) (当日消印有効)
- 抽 選 日/平成13年1月22日(月)
- 当選発表/当選者への発送をもって発表に替えさせて
いただきます。

※応募用のシール



キャンペーン用ツール（ポスター2枚、応募用シール2種類1組、お知らせ）は、本機関紙に同封。

カラオケ使用者連盟 平成12年度通常総会を開催

平成12年度通常総会が本年5月24日(水)、弘済会館(東京都千代田区)にて開催されました。

開会宣言の後、毛塚昇之助理事長が挨拶に立ち、昨年5月17日設立以降の活動内容について述べ、当連盟の活動に期待する関係各位の言葉を披露。引き続き同理事長が議長に選任されました。平成11年度事業報告、同収支決算報告並びに監査報告、平成12年度事業計画案、同予算案といった4議案全てが満場一致で承認。総会は、岩切宏悦常務理事の閉会宣言により無事終了致しました。

総会後には懇親会が催され、ご来賓に文部省生涯学習局生涯学習振興課長・佐藤秀雄様、社団法人日本音楽著作権協会業務本部長・加藤正彦様らをお招きし、参集した代議員らとともに、“カラオケ文化”および“生涯学習”について熱く語り合う一時を持ちました。

平成11年度事業報告

【概要】

昨年5月の設立総会で掲げた事業計画を基に、全国レベルで組織の強化と拡充を第一の目標として活動してまいりました。主な内容としては、カラオケオペレーター・全国の全国団体である「全国カラオケ事業者協会」の協力を得、カラオケ設置店に対する加入促進活動を展開、当連盟としても未組織県の組織固めを行いました。その結果、山形県、福井県、三重県、徳島県の4県を新たに加え、全国41都道府県を組織化することができました。

活動としては「生涯学習の場としてのカラオケ施設利用促進」「カラオケを通して文化振興活動の推進」をテーマに掲げ各種文化事業に着手。文部省生涯学習局のご指導を仰ぎながら「第11回全国生涯学習フェスティバル/まなびピア広島'99」に参画、日本で生まれたカラオケを広く認知させるため中国国営新聞・新華通社社へのカラオケ機器贈呈などを行いました。

また、「カラオケ使用者を取り巻く諸問題の解決」のために、音楽著作権管理団体である社団法人日本音楽著作権協会(JASRAC)との折衝を開始し、音楽著作権使用料に関する不公平正のため継続的な団体交渉を行いました。

●組織の拡充

カラオケ設置店の全国組織として強固な基盤作りが急務であると考へ、設立当初より当連盟の趣旨に賛同のあった店舗に対し、加入申込書の提出を促して正会員への転換を図りました。更に、新規会員の確保を積極的に行い、昨年設立時点で10都道府県あった未組織県のうち、4都道府県(山形県、福井県、三重県、徳島県)を組織化しました。

●広報活動

当連盟の活動報告と共に、会員の意思疎通を図ることを目的に機関紙を作成。第1号を平成11年11月1日、第2号を平成12年3月30日に全会員に配布しました。

また加盟店への「生涯学習の場としての施設利用促進」の啓蒙とカラオケ使用者連盟への参加意識を向上させるため、加盟店の証となる扉貼付用シールを作成、全会員へ配布しました。扉貼付用シールには利用顧客に対して当連盟加盟店であることを告知し、安心して生涯学習の場として利用できる店舗であることを知らせる意味合いが込められております。

●事業推進

平成11年10月7日～11日、文部省が各都道府県と共催で毎年行っている全国生涯学習フェスティバル「まなびピア広島'99」に参加、広島県下を舞台に行われたこの催しにカラオケ体験コーナーを設置し、期間中子供からお年寄りまで幅広い層にカラオケの利用を促し、生涯学習としてのカラオケ利用とその施設利用を提案しました。

また、平成11年9月27日・28日、東京・虎の門バストラルで行われた全国カラオケ事業者協会主催の「'99カラオケ・フェスタ」を後援。著作権法施行100年を記念して行われたシンポジウムに代表がパネラーとして参加しました。

加えて中国国営新聞・新華通社社の東京分社新社屋落成に伴い、中国側の要請に応じて、同国記者により日本文化を理解してもらおうとの主旨からカラオケ機器を贈呈しました。

●折衝活動

著作権使用料に係わる不公平正を目的に、社団法人日本音楽著作権協会(JASRAC)との間に会議の場を設定、平成11年6月24日、7月27日、10月27日、12月2日、平成12年2月29日の都合5回の会合で、他団体にあつて当団体にはない著作物使用料割引の早期是正を申し入れました。また、平成12年1月20日付官報にて公告された「社団法人日本音楽著作権協会著作物使用料規程の一部変更要領」について、その矛盾点を文化庁に対して意見具申し、今後の検討を求めました。

平成11年度決算書

(自平成11年4月1日 至平成12年3月31日)

科目	決算額	備考
1.会費収入	7,382,445	
入会金	2,440,000	有効店舗 4880店
正会員費	4,942,445	有効店舗 4696店
2.その他収入	1,448	預金利息
3.当期収入合計	7,383,893	

【収入の部】

単位：円

【支出の部】

科目	決算額	備考
1.事業費	2,675,894	
1) 会議費	583,561	総会、理事会他
2) 旅費・交通費	493,673	宿泊費、交通費
3) 広報費	638,820	機関紙発行
4) 組織強化費	266,700	会員ステッカー作成他
5) 事業推進費	693,140	生涯学習フェスティバル、協賛事業
2.一般管理費	3,990,408	
1) 職員給与手当	1,766,770	本部事務所員
2) 福利厚生費	16,000	
3) 事務用品費	420,189	パソコン購入、一般事務用品
4) 消耗品費	129,254	
5) 通信費	1,344,534	電話料金、郵送費
6) 印刷費	172,950	入会申込書、名刺
7) 渉外費	28,350	慶弔費含む
8) 諸支出金	112,361	振替手数料、誤入金返還分含む
3.都道府県運営費	550,000	各都道府県へ支給
4.当期支出合計	7,216,302	
5.当期収支差額	167,591	
6.次期繰越額	167,591	



挨拶に立つ当連盟・
毛塚昇之助理専長



ご挨拶を賜った文部省 生
涯学習局 生涯学習振興課
係長 佐藤秀雄様



ご挨拶を賜った社団法人日
本音楽著作権協会 業務本
部 副本部長 加藤正彦様



乾杯のご発声を頂戴した
全国カラオケ事業者協会
副会長 早坂学様

平成12年度事業計画 (案)

1. 事業指針

昨年度に引き続き、組織の強化と拡充を第1の目標に掲げ、カラオケ設置店の全国組織としての強固な組織基盤を構築する。

「生涯学習の場としてのカラオケ施設利用促進」「カラオケを通じた文化振興活動の推進」をテーマに事業を展開する一方、会員の利益向上に役立つ活動を研究し実践する。

また、「カラオケ利用者を取り巻く諸問題の解決」について継続検討を行い、団体としてその解消に努める。

2. 事業計画

- 1) 各エリア理事並びに都道府県会長が中心となり、未組織県の解消を図り、都道府県役員は協力して所轄都道府県内の会員拡大を行う。
- 2) 「生涯学習の場としてのカラオケ施設利用促進」をテーマに調査研究し、その促進策を検討、実践する。
- 3) 「カラオケを通じた文化振興活動の推進」をテーマに調査研究し、その促進策を検討、実践する。
- 4) 関連団体との情報交換を行い、趣旨を同じくする事業に協賛する。
- 5) 音楽著作権法の啓蒙普及活動を行うと共に、JASRACに著作権使用料の不公平是正を申し入れる。
- 6) 会員相互の意思疎通を図るため、年2回機関紙を発行する。
- 7) 全国組織の利点を活かした組織運営の在り方を研究し、各エリア理事並びに都道府県会長および役員と、本部事務所の組織運営上の連携を更に密なものとする。
- 8) 会員加盟店の利益につながる事業を企画し実行する。
- 9) 会員に対して有益な情報発信をし得る利便性の高い方策を調査研究する。

平成12年度収支予算 (案) (自 平成12年4月1日 至 平成13年3月31日)

【収入の部】 単位：円

科目	金額	備考
会費収入	9,500,000	
入会金	1,500,000	500円×3,000店
正会員費	8,000,000	1,000円×8,000店
会費外収入	1,000,000	協賛事業収入他
当期収入合計	10,500,000	
前期繰越額	167,591	
合計	10,667,591	

【支出の部】

科目	金額	備考
事業費	4,700,000	
1) 会議費	700,000	総会、理事会他
2) 旅費・交通費	1,000,000	機関紙発行含む
3) 広報費	700,000	
4) 組織強化費	300,000	
5) 事業推進費	2,000,000	
一般管理費	5,100,000	
1) 職員給与手当	2,800,000	本部事務所員
2) 福利厚生費	100,000	
3) 事務用品費	400,000	
4) 消耗品費	100,000	
5) 通信費	1,300,000	
6) 印刷費	200,000	
7) 渉外費	100,000	
8) 諸支出金	100,000	
都道府県運営費	550,000	各都道府県へ支給
当期支出合計	10,350,000	
次期繰越額	317,591	
合計	10,667,591	

全国11エリアで 平成12年度エリア通常総会を開催

東京での通常総会に前後して、5月10日(水)の四国エリアから6月16日(金)の北海道エリアまで、全国11エリアでエリア通常総会が開催されました。
平成11年度活動報告、同収支決算報告並びに監査報告、平成12年度事業計画案、同予算案について、各エリアともに満場一致で承認されました。

『まなびピアノ三重2000』でカラオケ大会を開催!

本年11月1日から5日間、三重県を開催地に行われる第12回全国生涯学習フェスティバル『まなびピアノ三重2000』の参加事業として実施するカラオケ大会。生涯学習としてのカラオケ利用と施設利用の促進運動を進める当連盟が主催致します。11月1日三重県四日市市で行われる大会には、全国のカラオケ・ファンが多数参加の予定です。当日は、ヒットメーカの一カーの曾根幸明(作曲家)らの審査により、上位入賞者へ各賞がプレゼント。ゲストに歌手の秋山涼子・大原えりからを招き、日頃自慢の歌声を競う場に相応しい華やかな舞台を演出致します。

名称/まなびピアノ三重 カラオケ大会 決勝大会
主催/カラオケ使用者連盟
日程/平成12年11月1日 12:00~18:00
場所/あさひプラザホール
(三重県四日市市下之宮町296-1 TEL.0593-63-0123)
入場料/無料
審査員/曾根幸明(作曲家)、水野実(作詞家)、秋山涼子(クラウンレコード)、毛塚昇之助(カラオケ使用者連盟・理事長)
■予選についてのお問い合わせは、下記までご連絡下さい。
カラオケ使用者連盟 本部事務所
TEL 03-3495-5695

Topics

「まなびピア三重2000」に参画

第12回全国生涯学習フェスティバル「まなびピア三重2000」(11月1日～11月5日)に参加決定。この催しは、毎年文部省と開催都道府県が共催で行っているもので、今年には三重県全域が会場として開催されます。昨年の「まなびピア広島」に引き続き、本年も当連盟は参画し、「生涯学習の場としてのカラオケ施設利用促進」をアピールして参ります。

●カラオケ使用者連盟の参加内容(詳しい報告は次号機関紙にて致します)

①同フェスティバルのメイン事業「生涯学習見本市」へ「カラオケ体験コーナー」の設置。

日時：平成12年11月1日(水)～5日(日)

10:00～17:00(最終日のみ～16:00)

場所：四日市ドーム

(三重県四日市市大字羽津田5169)

「まなびピア三重2000」生涯学習見

本市会場内

入場料：無料

②「まなびピア三重 カラオケ大会」

既にカラオケを楽しまれている方に発表の場を提供するとともに、広くその裾野を広げることが目的に一般参加によるカラオケ大会を開催します。

※詳細については前ページをご覧ください。

JASRACとの交渉経過

平成11年度事業報告(前ページ参照)にもあるように、著作権使用料に係わ

る不公平是正を目的に、社団法人日本音楽著作権協会(JASRAC)との団体交渉を設立以来継続的に行ってまいりました。

本年7月24日、毛塚理事長、岩切常務理事が、吉田茂JASRAC新理事長にご挨拶に同った際に、理事長ご就任のお祝いを述べると共に、吉田理事長との交渉の場を再度設けていただくよう強く訴えて参りました。

今後、他団体にあって当団体にはない著作物使用料割引の早期適用を要求し、継続的に交渉を続けて参りたく考えられています。会員各位におかれましても、同業他店に対する著作権法の啓蒙・普及活動へのご協力にご努力賜りますようお願い申し上げます。

インターネットで「生涯学習」の情報を！ ～「まなびねっと」(生涯学習情報提供サイト)について～

「生涯学習に関する情報が欲しい!と思った時、アナタならどうしますか。

前回発行の機関紙(第2号)にも、全国の地方自治体における生涯学習に関する窓口を掲載しましたが、自分が望む内容を電話で直接問い合わせるのでしょうか。

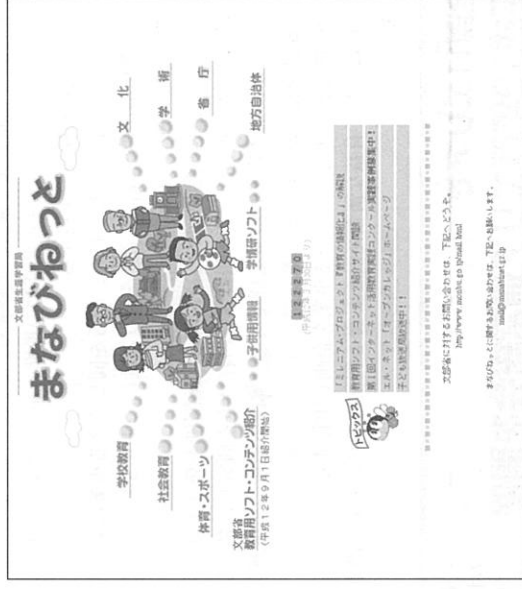
現在では、あらゆる分野でインターネットを利用した情報取得が可能です。生涯学習に関しても例外ではありません。今回で紹介する「まなびねっと」は、地方公共団体や教育機関等が、インターネット上に公開している生涯学習に関する情報を系統的に検索できるサイトです。

地方自治体が運営するプログラムにもリンクしており、身近な地域の情報も簡単に手に入れることが出来ます。

インターネットをご覧になれる環境をお持ちの方は、是非一度ご覧になって下さい。

URL <http://www.manabinet.gr.jp/>

当連盟は「生涯学習の場としてのカラオケ施設利用促進」をテーマにカラオケ設置店の全国組織として活動していますが、設立当初と比較して会員各位の意識も向上し、カラオケの枠を超えた生涯学習についての問い合わせが非常に増えています。カラオケを出発点にした生涯学習への取り組みが、その意識を生涯学習を通じた地域社会のコミュニケーションにまで発展させています。カラオケ設置店の主体的な生涯学習参加の窓口として、今後も様々な情報を提供して参ります。



●「カラオケ使用者連盟」入会のご案内●

平業は「カラオケ使用者連盟」の活動に深いご理解を賜り、厚く御礼申し上げます。ご承知の通り当連盟は「生涯学習の場としてのカラオケ施設利用促進」「カラオケを通じた文化振興活動の推進」「カラオケ使用者を取り巻く諸問題の解決」などをテーマに、カラオケ設置店による全国組織として活動致しております。

会員各位のお知り合いに当連盟の趣旨にご賛同いただけたら幸いです。ご入会に関しては右記までご連絡下さい。入会をおすすめいたします。

カラオケ使用者連盟 本部事務所

TEL 03-3495-5695

FAX 03-3495-5694

〒141-0021 東京都品川区上大崎2-24-11

目黒西口マンション2号館503